

AI翻訳の進歩が著しい。英語も日本語も通じない外国人患者が来院しても、AI翻訳さえあれば何の問題もない。私が周りの先生方に訊いても、みんな口をそろえてそう答える。果たしてそうだろうか？ 外国人診療のエキスパートである、りんくう総合医療センターの南谷かおり先生に突撃取材を行った。

南谷先生：「結論から言いますと、まだまだです。AIの音声認識は、声の抑揚を認識する



ないんですよ」

（堀井）私にも心当たりがある。「鼻水」という単語を医学辞典どおりに読み上げても、患者さんは怪訝な顔をするばかりだった。「内視鏡を肛門から挿入します」という説明を直訳して恥ずかしい思いをしたこともあった。

南谷先生：「こっちが意図することをAI翻訳は真逆に伝えちゃうこともあるんですよ。『この病気は放っておくと亡くなります』を『この病気は放っておくと無くなります（＝治ります）』と訳したりとか」

（堀井）同音異義語の多い日本語特有の事情だ。「このはしわたるべからず」は有名なとんち話だが、生死に関わる話とはとんち話みたいに笑い飛ばすことはできない。

AIは知能を備えている。人間の医療通訳に代わって、AIは外国人患者と言葉を交わすようになるのだろうか。

南谷先生：「確かにAIは賢いですよ。記憶力で

のが苦手なんです。こちらが質問する際、語尾を上げてるのに、AIは断定文として患者さんに伝えるとか」

（堀井）言われてみれば言語とは不思議なものだ。字面だけでは汲み取れない「行間」を読むという技は、無意識に認識することができる人間特有の能力なのだ。

南谷先生：「お医者さんって、専門用語を患者さんにもよく使うじゃないですか。AIが翻訳しても、患者さんには難しすぎてうまく伝わら

## 医界サロン

### AI翻訳の進歩が著しい昨今、外国人診察で医療通訳の果たすべき役割とは？

広報委員会副委員長 堀井 孝容

は人間なんか足元にもおよびません。でもね、手術前の患者さんに『大丈夫ですよ、絶対治りますよ』ってAIが慰めて、治らなかったらAIが責任を取ってくれるんですか？ 人間の通訳でも観光に従事されている方は、医療通訳には不向きだと言われています。ガイドさんは観光客を喜ばせるために、ネガティブな通訳はしないようにトレーニングを受けているからです」

（堀井）では人間の通訳にできて、AIにできないことは何だろう。

南谷先生：「患者さんって、生身の人間に信頼を寄せるんです。帝王切開の時に、言葉が通じる医療通訳の手を握って安心した妊婦さんを、私は見たことがあります」

AIは近い将来、あらゆる職種を淘汰すると言われてる。だがAIは医療者の代わりにはなり得ない。人間の医療者には、手の温もりがあるのだから。